

「子ども・若者に係る総合的な計画」策定について

1 要旨

現行の「京都市未来こどもはぐくみプラン」,「はばたけ未来へ!京都市ユースアクションプラン」,「京都市貧困家庭の子ども・青少年対策に関する実施計画」を一体化した,平成32年度を始期とする「子ども・若者に係る総合的な計画(以下「新計画」という。)」策定に向け,構成やコンセプトについて検討を進めております。

※ 新計画に包含する計画については別添1を参照

2 新計画の構成について(案)

新計画の作成に当たっては,計画の本編である第Ⅲ部を,「目指すまち」や「重点項目」を記載する「総論」と,新計画に包含する各計画を記載する「各論」に分けて掲載するなど,市民が目にすることを踏まえ,読みやすく,分かりやすい計画になるよう作成してまいります。

※ 新計画の構成については別添2を参照

3 新計画のコンセプトについて(案)

新計画は,以下のコンセプトのもとに策定したいと考えており,平成32年度以降は,「目指すまち」を実現するための「充実施策」や「新規施策」を推進していきたいと考えております

※ コンセプトの詳細は別添3を参照

《新計画のコンセプト》

【策定の基本理念】

～はぐくみ文化が息づく 子育て・「共育」のまち・京都の推進～

「妊娠前から子ども・若者までの切れ目ない支援」を更に推進し,市民ぐるみ,地域ぐるみで子どもたちをはぐくむ「はぐくみ文化」を未来に受け継ぐことにより,結婚・出産・子育ての希望を持つすべての人の願いが叶い,京都で育ち学んだ子どもや若者が将来の展望を持って成長するとともに,京都に住み,働く人が幸せと希望を感じ,暮らし続けたいと思えるまちを実現し,進行する少子化に立ち向かいます。

【目指すまちのすがた】

「京都で育ち学んでよかった,京都で子どもを生みたい,京都で子育てしたい,京都で暮らし続けたい」と思える「はぐくみ文化」が息づくまち

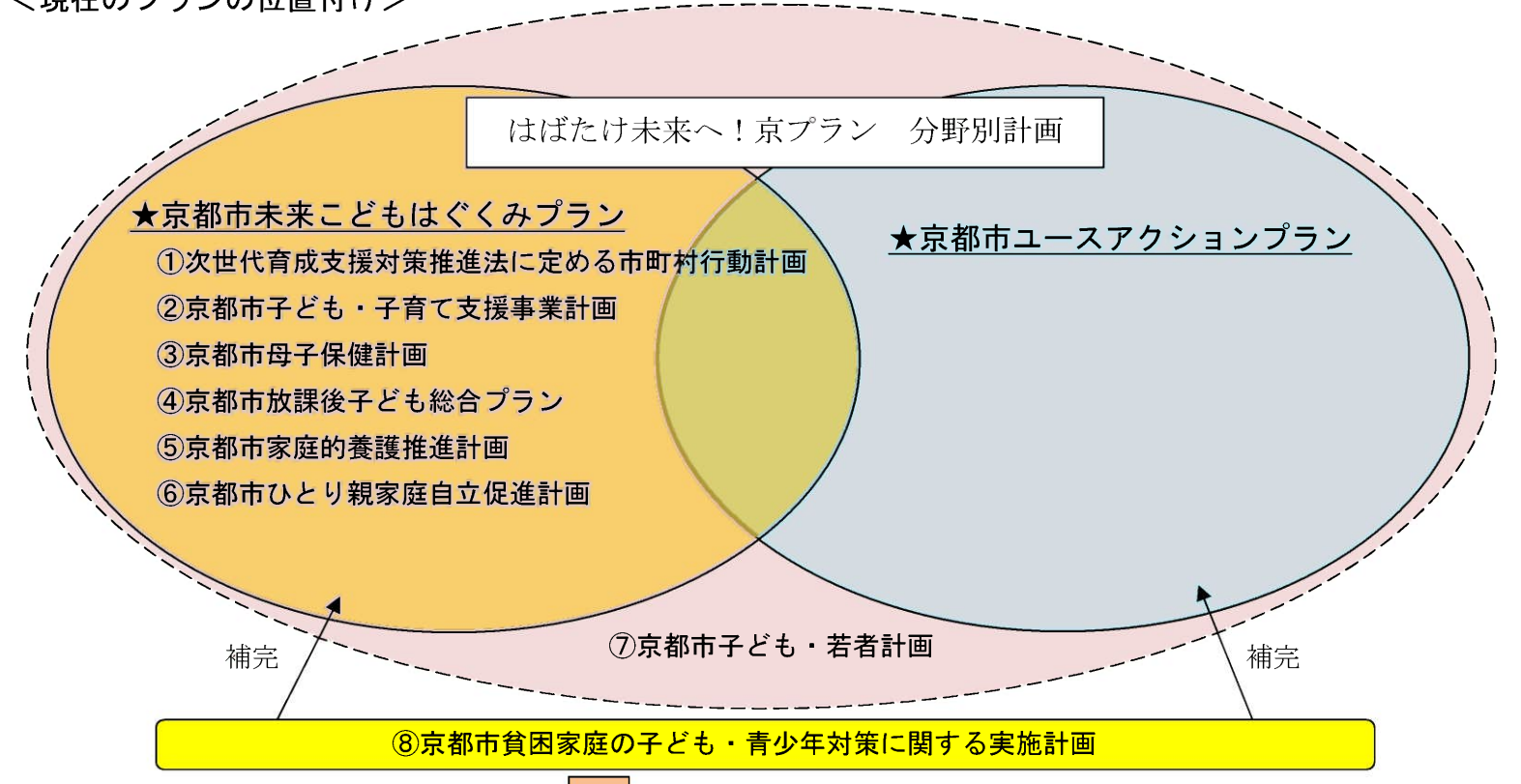
【計画策定の視点】

新計画では,子どもや若者自身が主体的に成長し,子ども・若者を育む家庭を,身近な地域や社会全体で支え合うことのできる京都のまちを更に推進していくことを目的に,「子ども」「若者」「子ども・若者を育むすべての家庭」「身近な地域」「社会全体」の視点で,「目指すまちのすがた」を実現し,推進する取組を進めていきます。

4 今後について

本部会での御意見を踏まえ,本市において検討を深め,3月中旬以降に開催を予定している等審議会の全体会議において改めて審議いただきます。

<現在のプランの位置付け>



<新たに盛り込む計画>

⑨子育て安心プラン

平成29年5月31日
に総理により発表
待機児童解消に係る事
項を記載

⑩障害児福祉計画

平成29年度に策定した
「はぐくみ支え合うま
ち・京都ほほえみプラン」
において、障害児通所支
援等の提供体制の確保目
標や必要な見込み数を掲
載

<新計画の位置付け>

「京都市未来こどもはぐくみプラン」と「はばたけ未来へ！京都市ユースアクションプラン」と同様に「はばたけ未来へ！京プラン」の分野別計画に位置付けると共に、「京都市貧困家庭の子ども・青少年対策に関する実施計画」や新たに「子育て安心プラン」や「障害児福祉計画」の要素を盛り込んだ計画とし、「都市レジリエンス」の構築及び「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けた取組として推進する。

<新計画に一体的に盛り込む計画>

- ①次世代育成支援対策推進法に定める市町村行動計画
- ②京都市第二期子ども・子育て支援事業計画
- ③京都市母子保健計画
- ④京都市新・放課後子ども総合プラン（後継計画）
- ⑤京都市社会的養育推進計画（後継計画）
- ⑥京都市ひとり親家庭自立促進計画

⑦京都市子ども・若者計画（一体化）

⑧京都市貧困家庭の子ども・青少年対策に関する実施計画（統合）

⑨子育て安心プラン（追加）

⑩障害児福祉計画（追加）

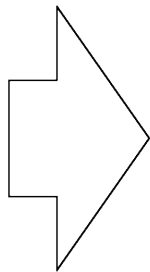
※ 「はぐくみ支え合うまち・京都ほほえみプラン」に記載する内容と同様の施策を掲載することにより整合を図る。

<新計画と関連する計画>

- ①教育振興基本計画
- ②教育に関する「大綱」

《 現 行 の 計 画 》

京都市未来こどもはぐくみプラン 第Ⅰ部 計画の趣旨 第Ⅱ部 子どもと家庭を取り巻く状況 第Ⅲ部 計画の内容 市町村行動計画 、 子ども・若者計画の一部 第1章 子どもを社会の宝として市民・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり 第2章 次世代を育むすべての家庭を支援し支え合うまちづくり 第3章 子どもを安心して生み健やかに育てることのできるまちづくり 京都市 母子保健計画 第4章 安心して子育てできる幼児教育・保育の充実 第5章 放課後の子どもの居場所づくり 京都市 放課後子ども総合プラン 第6章 伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子どもたちを育むまちづくり 第7章 支援を必要とする子どもや家庭を大切にするまちづくり 京都市 家庭的養護推進計画 第8章 ひとり親家庭の自立促進 京都市 ひとり親家庭自立促進計画 第9章 すべての家庭を支える子育て支援施策の充実 京都市 子ども・子育て支援事業計画 第Ⅳ部 計画の推進体制		
京都市ユースアクションプラン 子ども・若者計画の一部 第1部 計画の趣旨 第2部 青少年を取り巻く状況 第3部 計画の内容（改定版） 1 行動計画の体系 2 行動計画の施策とその展開 Ⅰ 生き方デザインの形成支援 Ⅱ 困難を有する青少年がよりよく生きるための支援 第4部 計画の推進		
京都市貧困家庭の子ども・青少年対策に関する実施計画 第1章 実施計画策定の基本的な考え方 第2章 貧困家庭の子ども等の状況 1 アンケート調査による実態把握 2 関係団体・施設等ヒアリング 3 子ども等の生活状況等実態把握の結果 第3章 京都市における貧困家庭の子ども等対策 1 貧困家庭の子ども等対策の方向性と施策の体系 (1) 実態把握から見えてきた、貧困家庭の子ども等を取り巻く課題 (2) 施策推進の方向性 (3) 施策の体系 2 貧困家庭の子ども等対策に資する具体的な施策 3 計画の推進		



《 新 計 画 （ 案 ） 》

子ども・若者に係る総合的な計画 第Ⅰ部 計画の趣旨 計画の背景・位置付け・計画期間・計画の対象 第Ⅱ部 子育て家庭・子ども・若者を取り巻く状況 ニーズ調査等の結果から見る本市の状況 第Ⅲ部 計画の内容 市町村行動計画 、 子ども・若者計画 【総論】 第1章 計画の基本理念と目指すまちづくり (1) 策定の基本理念 (2) はぐくみ文化が息づき、社会全体で子ども・若者を育む風土の醸成 (3) 計画策定の視点 第2章 目指すまちのすがたを実現し、切れ目のない支援を推進するための重点項目 (1) 安心して妊娠・出産できる環境づくりと子どもの学びと育ち (2) 若者のライフデザインの形成 (3) 子育て家庭・子ども・若者の居場所づくり (4) 特別な支援を要する子ども・若者やその家庭への支援 (5) はぐくみ文化を推進するネットワーク機能の強化 (6) 真のワーク・ライフ・バランスの更なる促進 【各論】 第3章 子ども・若者の健全育成や活動促進 (1) 母子保健 京都市 母子保健計画 (2) 乳幼児期の子育て支援 (3) 親育ち促進 (4) 幼児教育・保育 (5) 子どもの教育環境と生涯学習 (6) 放課後の子どもたちの居場所づくり 京都市 新・放課後子ども総合プラン (7) 思春期保健 京都市 母子保健計画 (8) 若者の自己成長と社会参加 第4章 特別な支援を要する子ども・若者やその家庭の課題解決 (1) 児童虐待対策・少年非行対策，社会的養育の推進 京都市 社会的養育推進計画（仮称） (2) 支援が必要な若者 (3) 障害児支援 京都市 障害児福祉計画 (4) ひとり親家庭支援 京都市 ひとり親家庭自立促進計画 第5章 貧困家庭の子ども・若者への支援 京都市 貧困家庭の子ども・青少年対策に関する実施計画 第6章 子どもと若者の未来をはぐくむ社会環境づくり (1) 次代を担う子ども・若者をはぐくむ地域共生社会の推進 京・地域福祉推進指針 との連動 (2) 「真のワーク・ライフ・バランス」の促進 第7章 市町村子ども・子育て支援事業計画 第二期 京都市子ども・子育て支援事業計画 第Ⅳ部 計画の推進体制 (1) 進捗管理の方法 (2) 京都市はぐくみ推進審議会		
---	--	--

子ども・若者に係る総合的な計画（案）

策定の基本理念

～はぐくみ文化が息づく 子育て・「共育」のまち・京都の推進～

「妊娠前から子ども・若者までの切れ目ない支援」を更に推進し、市民ぐるみ、地域ぐるみで子どもたちをはぐくむ「はぐくみ文化」を未来に受け継ぐことにより、結婚・出産・子育ての希望を持つすべての人の思いが叶い、京都で育ち学んだ子どもや若者が将来の展望を持って成長するとともに、京都に住み、働く人が幸せと希望を感じ、暮らし続けたいと思えるまちを実現し、進行する少子化に立ち向かいます。

子ども・若者とその家庭を
みんなで支え育む社会

+

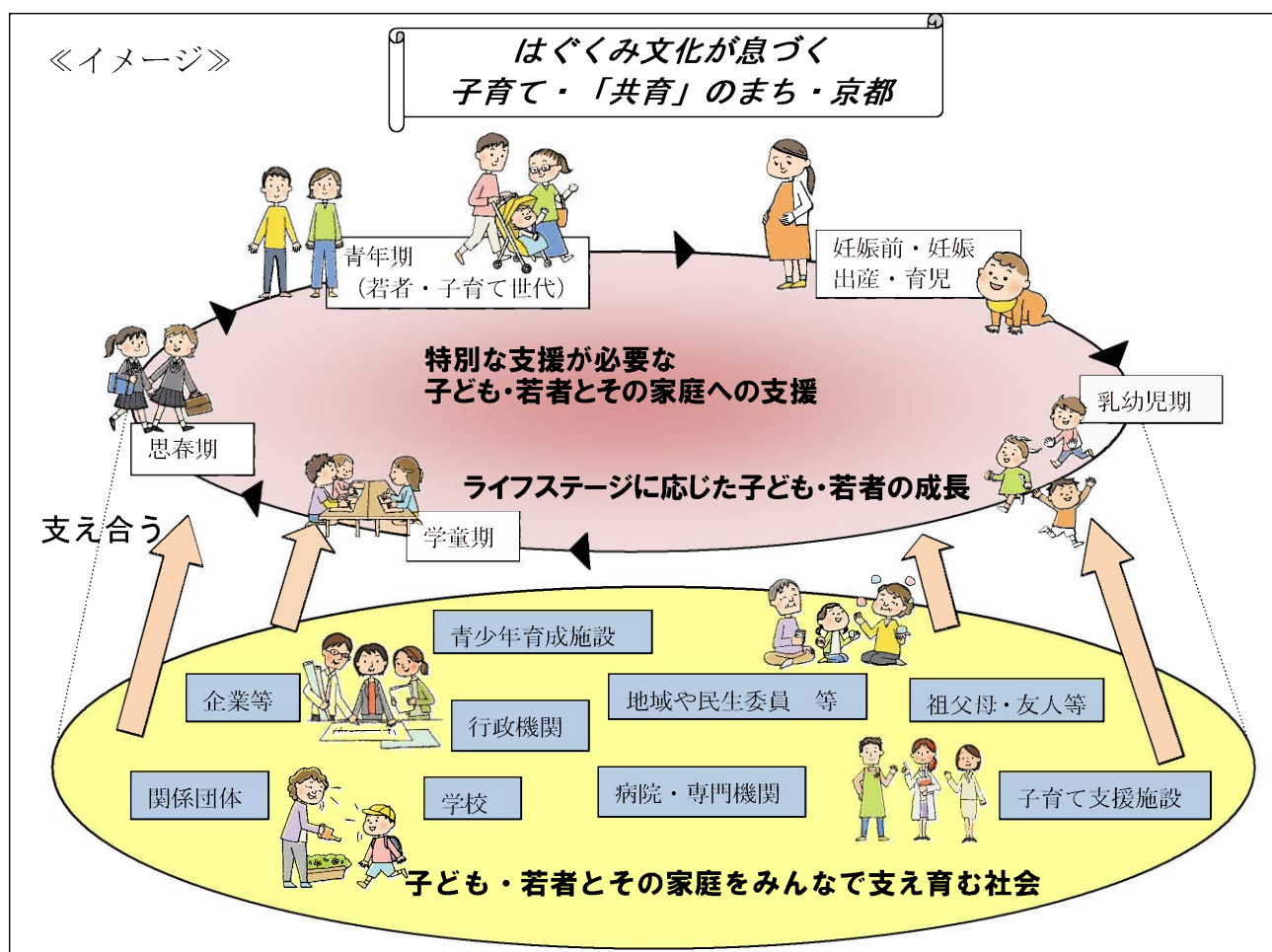
ライフステージに応じた
子ども・若者の成長

+

特別な支援が必要な子ども
・若者とその家庭への支援

《目指すまちのすがた》

「京都で育ち学んでよかった、京都で子どもを生みたい、京都で子育てしたい、京都で暮らし続けたい」と思える「はぐくみ文化」が息づくまち



計画策定の視点

新計画では、子どもや若者自身が主体的に成長し、子ども・若者を育む家庭を、身近な地域や社会全体で支え合うことのできる京都のまちを更に推進していくことを目的に、以下の視点のもと、市民ぐるみ・社会全体で「目指すまちのすがた」を実現し、推進する取組を進めていきます。

子どもが

社会の宝として大切に育まれ、育った環境に将来を左右されることなく希望を持って成長していくことができる。

若者が

将来に夢と希望を持って、たくましく未来を切り拓くことで、責任ある大人へと成長し、社会で活躍していくことができる。

子ども・若者を育むすべての家庭が

子ども・若者を家庭で大切に育み、子育てを通じて、他の子育て家庭等と出会い、子育てから学び、子どもと共に育つことができる。

身近な地域が

次代を担う子ども・若者を「社会の宝」として、市民ぐるみ・地域ぐるみで大切に育むとともに、繋がりを広げることで、子育て家庭を応援し、社会全体で孤立することがないよう支え合うことができる。

社会全体が

「真のワーク・ライフ・バランス」が息づき、結婚・出産・子育ての希望を持つ人の思いがかなえられ、すべての人が幸せを感じることができる。